

《宮崎県》

こまつばらやき  
【小松原焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

小松原窯は400年以上の歴史があり、15代目朴平意氏は宮崎県伝統工芸士として認定されています。

朴家伝統の「蛇蝎」<sup>だかつ</sup>「叩き」「鮫肌」<sup>どんこ</sup>「鈍甲」などの技法があり、研究された釉薬（ゆうやく）の使い方に特徴があります。これらは、茶碗の中でも歴史的価値の高い高麗茶碗の特徴です。井戸茶碗を得意としており、薪窯による穴窯自然釉にも力を入れています。

小松原窯の作品は、力強く、重厚なため、花器・つぼ類から日常生活用品に至るまで、さまざまな用途に利用されています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
窯元見学	随時（お問い合わせください）	宮崎県宮崎市月見ヶ丘 6丁目7-14	0985-54-2335 070-5532-9532

《宮崎県》

ひとつば やきかまもと  
【一ツ葉焼窯元】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

愛知県瀬戸市での15年陶芸の勉強の後、昭和53年に宮崎県一ツ葉に窯を開きました。色の異なる粘土を組み合わせ、絵柄、模様を作る、金太郎飴のような「練り込み」という技法を使って作陶しています。この技法は裏も表も模様がつながっていることから一つのことを「貫く」に通じているためお祝い事や人生の節目の記念品に好まれています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
第28回みやざきの窯元祭 in 綾	2020年 5月1日～5日	綾 酒泉の杜	(株)MRT アド 0985 (22) 3333
ひむかの国の窯元祭	2020年7月	宮崎空港 オアシス広場	一ツ葉焼窯元 0985 (75) 1588
一ツ葉焼窯元祭	2020年12月	一ツ葉焼窯元	一ツ葉焼窯元 0985 (75) 1588

《宮崎県》

しょうようがま  
【照葉窯】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

照葉窯では木立や草文など一点一点彫りして作成する象嵌<sup>そうがん</sup>や掻き落とし<sup>かおと</sup>技法の作品を中心に作陶しております。

1988年に陶芸をはじめ、2000年に独立して現在に至っております。その間にこの象嵌<sup>そうがん</sup>技法で各賞も頂きました。2007年に東国原知事より「みやざきの匠」の表彰も受けました。是非一度照葉窯の作品を手にとってご覧下さい。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
第28回みやざきの窯元祭 in 綾	令和2年5 月1～6日	綾町 酒泉の杜	(株)MRTアド 0985-22-3333
天草大陶磁器 展	10月31日 ～11月4 日	天草市民センター、 体育館	天草市役所

照葉窯：宮崎県都城市下長飯町693-1 TEL：0986-39-6922

《宮崎県》

みまたやきしろくがま  
【三股焼紫麓窯

（新燃岳火山灰使用・新金燃釉陶



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

宮崎県三股町の三股焼紫麓窯では 2011 年に噴火した新燃岳の火山灰を使用し陶器を制作している、従来は火山灰を釉薬に用いて焼成しても黒か銀黒の表現しか出来なかったが、6 年かけ金と結晶釉の焼成に成功した。

新燃岳に続き桜島と阿蘇の火山灰でも制作している。

それぞれの窯元が独自の技法で作陶し、色々な焼き物が楽しめる。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
第28回みやざきの窯元祭 in綾	5月1日～5日	綾町蔵元 綾 酒泉 の杜	((株) MRTアド 0985-22-3333
みまたモノづくりフェア	6月12日～ 14日	三股町武道体育館	三股町役場企画商工課 0986-52-9085
ひむかの国の 窯元祭	7月末(日にち 未定)	宮崎ブーゲンビリア 空港オアシス広場	宮崎空港ビル

紫麓窯 TEL: 0986-52-3603